

2020 年度実施概要

教育委員会名

気仙沼市教育委員会

採択活動名

気仙沼市海洋教育研究開発事業

取り組みの概要

1 推進協議会等の実施状況

【海洋教育推進連絡会】

市内のパイオニアスクールプログラム参加校（幼稚園3園，小学校10校，中学校5校）に加え，海洋教育に関する取組をする高等学校2校，東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任講師，東京海洋大学三陸サテライト職員等，関係者が集まり，4回開催した（年間5回の開催を計画していたが，第1回目は感染症拡大防止の観点から中止としたもの）。

主な内容は，海洋リテラシーや，リテラシーを育む海洋教育のカリキュラム等についての研修と協議である。また，各校の取組状況の情報交換も行い，コロナ禍においても海洋教育の学びを止めないための工夫を共有することができた。

第1回 研修 講話「海洋教育のこれから，海洋リテラシーの展望」

講師 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター長 田中 智志 氏

第2回 研修 テーマ「海洋教育カリキュラムの作成について」

話題提供 気仙沼市立鹿折小学校（令和2年度～海洋教育特例校）

気仙沼市立唐桑小学校（令和2年度 海洋教育特例校申請）

第3回 研修 テーマ「オンラインでの発表，意見交流の可能性と効果的な在り方

～海洋教育子どもサミットに向けて～」

講師 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任研究員 梶川 萌 氏

第4回 研修 講話「理論とモデルからひも解く『探究』の考え方」

講師 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任研究員 梶川 萌 氏

【海洋教育推進委員会】

今年度より，専門委員会「気仙沼市海洋教育推進委員会」を立ち上げ，3回の会議を開催した。委員会の目的は以下の3点である。

- (1) 気仙沼 ESD の基本理念と目的を踏まえ，児童生徒に育む海洋リテラシー及び海洋教育に関する事業推進の方針，計画等に関する必要事項について協議する。
- (2) 本市の海洋教育のさらなる充実を図るため，海洋教育推進連絡会への提案や助言等を行う。
- (3) 大学や専門機関，市教委等と連携・協働し，本市の学校教育における海洋教育の充実に向けた取組を支援する。

特例校校長を委員長として，パイオニアスクールの幼稚園，小学校，中学校の教員計6名と，東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターより特任講師と特任研究員に加わっていただき，話し合いを行った。「海と生きる」ことを児童生徒に探究させる必要があること，小中連携の在り方，市内全体としての海洋教育の成果と課題を検証していくことなどが課題として見えてきた。

【海洋教育副読本編集委員会】

今年度より、専門委員会「気仙沼市海洋教育副読本編集委員会」を立ち上げ、6回の会議を開催した。特例校申請校の教頭を委員長として、パイオニアスクールの幼稚園、小学校、中学校の教員計6名で、副読本の編集方針、編集の視点、カテゴリー等について協議を行った。

2 特例校の申請状況（申請内容・校数・結果）

「海と生きる」を震災復興のキャッチフレーズに掲げる気仙沼市らしい教育の推進に向け、気仙沼市全体で海洋教育カリキュラムの構築に取り組んでいる。

今年度より、海洋教育に関する教育課程特例校として鹿折小学校が認可され、特設の領域「海と生きる探究活動」を設けて教育活動を展開している。「海と生きる探究活動」は、海に関する地域素材や人的環境を生かした体験的な学習を効果的に取り入れるとともに、単なる体験に終わらず、従来の教科の学習の一部を組み入れ、探究的な学習として構成している。

次年度に向け、唐桑小学校を申請した。特例校として認可され、実践していくこととなった。

3 公開研究会・授業研究会・教員研修会・発表会等の実施状況

海洋教育こどもサミットオンライン大会

（主催：気仙沼市教育委員会 共催：岩手県洋野町教育委員会、福島県只見町教育委員会）

市教育研究員による海洋教育の研究及び授業研究

海洋プラスチックごみゼロプロジェクト研修会（教員対象研修会）

教職員地域研修会（新規採用教職員対象）

海洋フォーラム in 鹿折（鹿折小学校）

リアスサミット in 唐桑（唐桑小学校）

大島海洋教育発表会（大島小学校）

4 外部機関との連携

東京大学大学院附属海洋教育センターとの連携による授業への講師派遣，研修会講師，海洋教育こどもサミットオンライン大会開催支援

宮城教育大学との連携による授業への講師派遣

東京海洋大学三陸サテライト主催事業への児童生徒の参加

宮城県気仙沼水産試験場の職員の会議への参加と情報共有

国土交通省の協力による海事教育の授業

特定非営利法人 WWF の協力による教員研修の開催

オンラインで海外の学校と結んだ交流授業（海洋教育関連）

市の機関（水産振興センター，循環型社会推進課，環境課）の授業への協力，会議参加

5 地域・保護者を対象とした報告会等の実施状況

海洋教育こどもサミット（主催：気仙沼市教育委員会）

海洋フォーラム in 鹿折（主催：鹿折小学校）唐桑海洋サミット（主催：唐桑小学校）

リアスサミット in 唐桑（唐桑小学校）

大島海洋教育発表会（主催：大島小学校）

提案報告会（主催：面瀬小学校）

6 その他教育委員会としての取り組み

教育委員会では、市内の海洋教育の推進に向けて、海洋教育推進委員会（令和2年度より）、海洋教育推進連絡会の運営を行うとともに、各校への指導・助言を行った。また、関係機関との連携を図り、大学や専門機関からの情報を収集し、各実践校に伝え、最新の情報を提供するように努めた。さらに、市外から転入してきた教職員に向けた地域研修のプログラムを海洋教育の視点から見直し、「海と生きる」気仙沼市について実感を伴った理解を促した（新型コロナウイルス感染症対策として、新規採用教職員対象研修のみ実施）。気仙沼市教育研究員制度の中では、海洋教育を研究分野とした取組について助言・指導を行った。

コロナ禍で体験学習や対面での研修が難しかったため、各校にオンライン会議アプリの導入を積極的に進め、教員研修も開催した。こどもサミットをオンライン大会として実施するほか、遠隔地の講師（大学職員等）ともオンラインでつながり、各校の授業で講話をいただくことができた。

海洋教育特例校の取組の支援として、鹿折小学校の初年度の実施への助言に加え、唐桑小学校の「海と生きる探究活動」プログラムの立案について指導、助言を行った。

活動参加校名

1. 気仙沼市立唐桑幼稚園
2. 気仙沼市立大谷幼稚園
3. 気仙沼市立小泉幼稚園
4. 気仙沼市立気仙沼小学校
5. 気仙沼市立鹿折小学校
6. 気仙沼市立松岩小学校
7. 気仙沼市立階上小学校
8. 気仙沼市立大島小学校
9. 気仙沼市立面瀬小学校
10. 気仙沼市立唐桑小学校
11. 気仙沼市立中井小学校
12. 気仙沼市立小泉小学校
13. 気仙沼市立大谷小学校
14. 気仙沼市立階上中学校
15. 気仙沼市立大島中学校
16. 気仙沼市立面瀬中学校
17. 気仙沼市立唐桑中学校
18. 気仙沼市立大谷中学校